魚津市民意識調査

～ともにつくる　未来につなぐ　人と自然が輝くまち 魚津～

調査へのご協力のお願い

日頃より市政の推進にご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

市では、市の将来像を描き、その実現に向けたまちづくりの基礎となる「第５次魚津市総合計画」を令和３年４月からスタートさせ、様々な施策に取り組んでいます。

計画策定から５年が経過し、令和８年３月に施策の進捗や成果、新たな課題を捉え、将来人口を含めた基本構想の一部を改訂しました。人口対策を最重要課題とし、第５次魚津市総合計画に掲げる施策を着実に進めるために重点的かつ優先的に取り組む施策の推進に努めてまいります。つきましては、広く皆様方のご意見、ご提言を伺い、今後の魚津市のまちづくりに活かしてまいりたいと考えております。

ご多用のところ、お手数をおかけし、誠に恐縮ではございますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和８年７月

魚津市長　村椿晃

ご記入に当たって

・調査は無記名であり、個人が特定されることはありません。また、結果は統計的に処理しますので、回答した皆様にご迷惑をおかけすることはございません。
・この調査は令和８年７月１日現在、魚津市に住民登録のある18歳以上の市民の方から無作為に1,000人の方を選び、送付しています。
・回答は「性別・年齢・地区別」に集計・分析しますので、ご本人のお考えをご記入ください。
・ご高齢等の理由によりご本人の記入が難しい場合は、ご家族や介護者による代理回答（聞き取りなどによる回答）ができます。
・調査票記入にかかる所要時間（目安）は、約15分です。
・記入した調査票を同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、
令和８年８月28日（金）までにお近くの郵便ポストへ入れてください。

【調査に関するお問い合わせ先】魚津市役所　企画広報室
電　話：0765-23-1015　メール：info@city.uozu.lg.jp

■この調査はＷＥＢでも回答できます。

右にある二次元コードから専用のページにアクセスしてください。
ＷＥＢで回答した場合は、この調査票の返信は不要です。
※二次元コードを読み取れない場合はこちらから
https://shinsei.pref.toyama.lg.jp/xT6BTGjH

あなた自身のことについて、お伺いします。（１つに○）

性　別	1. 男性　2. 女性　3. その他/回答しない
年　齢	1. 10代　2. 20代　3. 30代　4. 40代　5. 50代 6. 60代　7. 70代以上
地　区	1. 大町　2. 村木　3. 下中島　4. 上中島　5. 松倉 6. 上野方　7. 本江　8. 片貝　9. 加積　10. 道下 11. 経田　12. 天神　13. 西布施　14. 分からない

魚津市での生活について、お伺いします。

問１　あなたは、魚津市に何年くらい住んでいらっしゃいますか。**（１つに○）**

1. ５年未満　2. ５年以上10年未満　3. 10年以上20年未満
4. 20年以上　5. 生まれた時から（途中に転出期間がある場合も含む。）

※転入した人は1～4、生まれてからずっと住んでいる人は5を選択ください。

問２　魚津市での住みごこちはいかがですか。**（１つに○）**

1. とても住みやすい　2. 比較的住みやすい　3. どちらとも言えない
4. 比較的住みにくい　5. 住みにくい

問３　あなたは、これからもずっと魚津市に住み続けたいと思いますか。**（１つに○）**

1. 住み続けたい ⇒問４へ　2. できれば住み続けたい ⇒問４へ
3. いずれは市外に引っ越したい ⇒問５へ　4. 特にこだわりは無い ⇒問６へ

問４　問３で「１又は２」とお答えの方にお伺いします。
魚津市に住み続けたいというのは、どのような
理由からですか。下記から理由を３つまで選んで
右に番号を記入してください。⇒回答後は問６へ

□ □ □

1. 生まれ育った場所　2. 愛着がある　3. 隣近所のつきあいが良い
4. 子育てしやすい　5. 老後を過ごしやすい　6. 住宅を持っている
7. 通勤･通学のため　8. 交通の便が良い　9. 日常の買い物が便利
10. 自然環境が良い　11. 他市町村に魅力を感じない
12. 親の近くに居たい　13. 管理すべき農地がある
14. 特に理由は無い　15. その他（　　）

問５	問３で「３」とお答えの方にお伺いします。 市外へ引っ越したいというのは、どのような 理由からですか。下記から理由を３つまで選んで 右に番号を記入してください。	□ □ □

1. 生まれ育った場所ではない　　2. 隣近所のつきあいが良くない
3. 若者や子どもの遊び場がない　　4. 子育て環境が良くない
5. 愛着がない　　6. 老後を過ごしにくい　　7. 住宅を取得しにくい
8. 通勤･通学に不便　　9. 交通の便が良くない　　10. 日常の買い物が不便
11. 自然環境が良くない　　12. 他市町村に魅力がある
13. しがらみから抜け出したい　　14. 特に理由は無い
15. その他（　　）



魚津市のまちづくりについて、お伺いします。

第５次魚津市総合計画では、優先的に取り組むべき「人口対策」に関わる施策を「重点施策」と位置付け、その達成に向けた取組を推進しています。次頁以降の設問では、重点施策に関する取組についてお伺いします。

Check!　魚津市の長期的な人口見通し

「令和12（2030）年には、36,000 人程度、令和42（2060）年には、21,000人から24,000人程度まで減少する」という見通しを立てました。　※令和８（2026）年３月策定魚津市総合計画より。

Check!　重点施策

① 魅力あるしごとの創出と若者や女性にも働く場として選択されるまちの実現
② にぎわいの空間の創出と魚津への新しいひとの流れの創出
③ 安心・安全な暮らしを守り、こどもを地域全体で育てるまちの実現
④ 活力ある地域づくりとデジタル技術の活用等により持続可能なふるさと魚津の実現

働く場の確保、しごとの創出について

人口対策のうち重点的に取り組むべきポイントとして、若者や女性からも選ばれる「魅力あるしごとの創出と醸成」が挙げられます。様々な分野や業種における新しい雇用を創出することができる環境づくりや安定した雇用の継続のために必要な施策について、お伺いします。

問６	あなたは、産業の振興や魅力あるしごと創りのためには、どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。**（○は２つまで）**

1. 農業・林業・漁業が活性化するための支援
2. 商業・工業が活性化するための支援
3. 新たな事業を興すための企業や研究機関などの誘致
4. 起業がしやすい環境づくり
5. 若者や女性、高齢者など、誰もが働きやすい職場づくり
6. 新しい働き方や暮らし方の変化に対応した雇用環境づくり
7. その他（　　）

問７	魅力的なしごとの創出のために重要だと思う取組は、何だと考えますか。**（○は２つまで）**

1. 既存企業の支援
2. 働きやすい職場環境の整備（多様で柔軟な働き方の導入支援等）
3. 新たな企業誘致活動
4. 起業・スタートアップ支援
5. 職業訓練・スキルアップ支援の拡充
6. その他（　　）

問８	近年、若者や女性の市外転出が増加している中で、若者や女性に働く場として選ばれるためにどのようなことが重要だと考えますか。**（○は２つまで）**

1. 正規雇用の拡大や雇用におけるミスマッチの解消
2. 観光業、飲食業など地域の特色を活かした産業の活性化
3. 情報技術（IT）やクリエイティブ企業の育成と雇用創出
4. 地域内企業でのインターンシップや見学会の実施
5. キャリアアップ支援制度の導入
6. 女性が復職しやすい環境づくり
7. 福利厚生の充実
8. 若者や女性が安心して働ける職場づくり
9. アンコンシャス・バイアスの解消
10. その他（　　）

※「アンコンシャス・バイアス」とは、「無意識の偏ったものの見方」のことをいいます。例えば、「共働きでも男性は家庭よりも仕事を優先するべきだ」とか、「女性は、こどもを産み育てるのが当たり前」といった偏った先入観が代表的な例です。

にぎわいのあるまちづくりについて

本市に引き続き住みたくなるような取組や関係人口の創出・拡大を図り、にぎわいや交流を創り出す取組について、お伺いします。

問９	あなたは、にぎわいの創出や新たな交流を生み出すためには、どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。**（○は２つまで）**

1. 駅周辺など、にぎわいを生む商店の活性化
2. 農商工の連携による新たな地域ブランドの開発
3. 歴史・文化・自然等を活かした観光振興
4. スポーツ大会や合宿等、スポーツ資源を活用した取組
5. 地域の担い手確保につながるような関係人口創出の取組
6. その他（　　）

問10	あなたは、にぎわいを生むための要素として、何が必要と考えますか。**（○は２つまで）**

1. 魅力的な商業施設や飲食店の整備・誘致
2. 地域イベントの開催
3. 観光施設や地域資源の魅力向上・利用促進
4. 新しい移住・定住施策の強化
5. 地域内外への積極的なプロモーション活動
6. 駅や市の中心部への交通アクセスの改善
7. その他（　　）

問11	新たなにぎわいや交流の創出のため、機会が増えてくることが予想される外国人との交流について、今後何が必要と考えますか。**（○は２つまで）**

1. 多文化交流イベントの開催
2. 地域の観光・文化の情報発信や受入れ環境の整備
3. 地域ならではの体験型プログラム
4. 学校や地域での多文化共生活動の促進
5. 日本語学習支援環境の整備
6. 外国人の生活支援
7. その他（　　）

人口対策や定住促進の取組について

問12	人口対策を進め、活力ある社会を目指して、魚津市が取り組むべきことは何だと思いますか。**（○は２つまで）**

1. 産業を振興し、雇用を拡大させて、経済を活性化させる取組
2. 子育て支援の充実などにより、結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる取組
3. 移住や定住、Ｕターンの促進など市内の人口を増加させる取組
4. 自然や特産品、文化財、体験型施設など、地域資源の活用や人や物の交流を拡大し、地域の活性化やにぎわいを創る取組
5. 農漁村の魅力づくりや福祉の充実など、人口減少社会でも安心して暮らせる地域を目指す取組
6. 地域振興活動の推進や公共交通の充実など、持続可能な地域を目指す取組
7. その他（　　）

問13	人口減少に適応するため、重要だと思う対策を選んでください。**（○は２つまで）**

1. 医療・福祉サービスの維持・拡充
2. 地域交通網の改善（バスや鉄道の運行頻度の確保）
3. 公共サービスの効率化（行政のデジタル化など）
4. 雇用機会の確保（地元で働ける環境作り）
5. 高齢者への支援施策（介護制度の強化など）
6. 子育て支援や教育環境の充実
7. その他（　　）

問14	移住・定住してもらうために魚津市が行えばよいと思う取組は何ですか。**（○は３つまで）**

1. 移住・定住相談窓口の設置
2. 地域やまちの情報の発信
3. 空き家情報の提供
4. リフォーム等住み替えにかかる支援
5. 住宅購入・家賃の支援
6. 就職や就業の支援
7. 働く場の創出（企業誘致等）
8. 農業・漁業の振興
9. 防犯・防災等の安全・安心の充実
10. 医療や福祉施策の充実
11. 子育て支援の充実
12. 学校教育等教育環境の充実
13. 商業活性化等まちのにぎわいの創出
14. 公共交通機関の充実
15. 道路等の都市基盤の整備
16. 良好な自然環境の保全
17. 観光・交流の振興
18. 芸術・文化の振興
19. 結婚の支援
20. 若者が活躍する場の提供
21. 地域の愛着を育む取り組み
22. 地域活動やボランティア等市民活動の充実
23. まちのイメージアップへの取り組み
24. その他（　　）

結婚や出産について

結婚や出産、子育てにかかる環境の整備についてお伺いします。

問15	魚津市では婚活支援等に取り組んでいます。あなたは、民間の取組も含め、結婚に関して、どのような支援があれば効果的だと思いますか。**（○は２つまで）**

1. 若者の就業への支援
2. 出会いの機会を提供するイベント等の結婚支援
3. 結婚に関する相談支援や情報提供の支援
4. 社会全体で結婚や子育てを応援する意識づくり
5. 子育てに必要な経済的負担の軽減
6. 子育てに必要な精神的、身体的負担の軽減
7. 仕事と家庭生活の両立支援
8. 結婚新生活に必要な費用の負担軽減
9. 必要ない
10. その他（　　）

問16	あなたは、こどもを望む人が安心してこどもを産むためには、どのようなことが必要だと考えますか。**（○は２つまで）**

1. 出産できる産婦人科や医療機関があること
2. 妊娠、出産に関する相談体制や情報提供があること
3. 子育てしやすいまちであること
4. 仕事が続けられる環境があること
5. 生活のしやすさがあること（住居の広さや交通の便等を含む）
6. 経済的な支援があること
7. 配偶者や家族の協力があること
8. その他（　　）

子育てしやすいまちづくりについて

問17	魚津市の子育て支援や教育環境について、満足度を教えてください。**（１つに○）**

1. 満足
2. ほぼ満足
3. どちらともいえない
4. やや不満
5. 不満

問18	あなたは、子育て環境を充実させるためには、どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。**（○は２つまで）**

1. 保育所・認定こども園における保育環境の向上
2. 病児・病後児保育、一時預かり、学童保育などの保育サービスの充実
3. 保護者同士の交流や仲間づくりのための機会の充実
4. こどもの遊び場の整備
5. 子育てに関する相談や情報提供などの充実
6. 子育ての経済的負担に対する支援
7. その他（　　）

問19	あなたは、教育環境を充実させるためには、どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。**（○は２つまで）**

1. 基礎的な知識や応用力を高める学力の向上
2. 社会のルールや命の大切さを学ぶ心の教育の推進
3. 家庭・地域・学校が連携した地域社会における教育力の向上
4. 不登校やいじめなどに対応した教育環境の充実
5. 学校内や通学路における子どもの安全対策の強化や安全教育の推進
6. 校区のイベントなどを通じた地域の人たちとの交流
7. 多様なニーズに対応した生涯学習の機会の充実
8. 文化・芸術活動や国際交流活動の推進
9. 個性や能力にあった教育環境の充実
10. ＩＣＴ環境を活用した学習の機会の充実
11. 教職員の働き方改革推進によるより良い教育環境の実現
12. 食育の推進などによる学校給食の充実
13. その他（　　）

安全・安心に暮らせるまちづくりについて

災害や火災、新たな危機の発生時に迅速・的確な対応をするための取組についてお伺いします。

問20	あなたは、防災に対する取組として、どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。**（○は２つまで）**

1. 避難訓練や防災講座などの啓発活動の充実
2. 災害時における情報提供や連絡体制の充実
3. 災害用備蓄の充実と防災資機材の整備
4. 耐震診断や改修費用などの補助制度や公共施設の耐震化の充実
5. 行政職員の災害対応能力の向上
6　地域を守る自主防災組織の体制強化
7. その他（　　）

問21	あなたは、福祉を充実させるためには、どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。**（○は２つまで）**

1. 高齢者や障がい者(児)が入所(入居)できる施設の整備
2. 地域における居場所づくりの整備
3. 高齢者や障がい者(児)が利用しやすい在宅サービスの充実
4. だれもが生活しやすい、まちのバリアフリー化の推進
5. 地域で見守りや声掛けなどができるコミュニティづくり
6. 経済面での生活支援の充実
7. 元気な高齢者の働く場の確保や障がい者が自立できる就労支援策の充実
8. その他（　　）

これからの魚津市のまちづくりについて

問22	自治会など地域コミュニティの活力低下を感じたことがありますか。**（１つに○）**

1. 頻繁に感じる
2. 時々感じる
3. 感じたことはない
4. 考えたことはない

問23	地域コミュニティの維持・活性化のために必要だと感じる取組を選んでください。**（○は２つまで）**

1. 地域住民同士の交流促進（イベントや集会の開催）
2. ボランティア活動を支援する仕組み
3. 若者が参加しやすいコミュニティ活動の企画
4. 地域での情報共有・連携ツールの活用（SNSやコミュニティアプリ）
5. 地域コミュニティによる高齢者や子育て世帯への支援
6. 地域の歴史や伝統を守る取組
7. 自治会組織の合併・再編
8. 自治会の担い手の確保、人材の発掘
9. その他（　　）

問24	うるおいのある豊かな地域社会を築いていくためには、住民がまちづくりに積極的に参加していくことがますます重要になります。今後、あなた自身が地域振興の取組に参加することについてどのようにお考えですか。**（1つに○）**

1. 地域振興の取組に住民参加は今後不可欠であり、機会があれば積極的に参加したい
2. 地域振興の取組に住民参加は必要であるが、関係団体などの選ばれた人が中心になって進めるのが望ましい
3. 地域振興の取組に住民参加は必要であるが、自分としては参加できない
4. 地域振興の取組に参加したいが、参加する方法がわからない
5. 地域振興の取組に住民参加の必要はない
6. その他（　　）

市役所の窓口サービスについて、お伺いします。

近年、全国や富山県内の一部の自治体で、市役所窓口の受付時間を短縮する動きが広がっています。魚津市でも、これからの窓口サービスのあり方を考えるため、窓口の利用状況などの現状分析を進めています。市役所の窓口について、お伺いします。

問25	あなたは、市役所の窓口をどのくらいの頻度で利用しますか。**（１つに○）**

1. 月に１回以上　　⇒問26へ
2. ２～３か月に１回程度　　⇒問26へ
3. 年に１、２回程度　　⇒問26へ
4. ほとんど利用しない　　⇒問27へ

問26	問25で「4. ほとんど利用しない」を選んだ方以外にお伺いします。あなたが、市役所の窓口を利用する場合は主にどの時間帯ですか。**（１つに○）**

1. 午前８時30分～９時ごろ
2. 午前９時～正午ごろ
3. 正午～午後４時ごろ
4. 午後４時～５時15分ごろ
5. 毎週月曜日の市民環境課の延長窓口を利用（午後５時15分～午後７時）
6. 特に決まっていない

問27	市役所の窓口に来なくても、コンビニ交付やオンライン申請で各種手続きや証明書の取得ができます。あなたのご利用状況に最も近いものをお選びください。**（１つに○）** ※コンビニ交付：マイナンバーカードを使って、コンビニで住民票や印鑑登録証明書などを取得できるサービス

1. 使ったことがある　⇒問29へ
2. 知っているが、使ったことはない　⇒問28へ
3. 知らなかった　⇒問29へ

問28	問27で「2. 知っているが、使ったことはない」を選んだ方にお伺いします。使わない・使いにくい理由を教えてください。**（あてはまるもの全てに○）**

1. マイナンバーカードを持っていない
2. 使い方がよく分からない・不安
3. 窓口で相談しながら手続したい
4. 窓口の方が楽
5. その他（　　）

問29	富山県内では、南砺市・舟橋村・小矢部市（試行）が、窓口の受付時間を午前９時～午後４時に短縮しています（令和８年７月時点）。 仮に、市役所の窓口の受付時間がこれらと同じように短縮となった場合、あなたはその時間内に来庁することができますか。**（１つに○）**

1. できる（今までどおり問題なく利用できる）　⇒問31へ
2. 難しい（早朝や夕方でないと来庁できない事情がある）　⇒問30へ
3. ふだん市役所の窓口を利用しない　⇒問31へ

問30	問29で「2.難しい」を選んだ方にお伺いします。その理由を教えてください。**（１つに○）**

1. 仕事
2. 送迎
3. 通院
4. その他（　　）

問31	仮に窓口の受付時間を見直す場合、生み出された時間を次のようなことに活用することが考えられます。 ・市民サービスの質の向上や業務改善 ・職員の働き方改革（時間外勤務の削減など） ・人口減少が進む中でも持続可能な市民サービスの維持 上記を踏まえ、窓口の受付時間の見直しについてどう思われますか。 **（１つに○）**

1. 積極的に取り組むべきだと思う
2. どちらかというと取り組むべきだと思う
3. どちらかというと取り組む必要はないと思う
4. 取り組む必要はないと思う
5. その他（　　）

その他、将来の魚津市についてご意見やご要望がございましたら、ご自由にご記入ください。

ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて **８月28日（金）** までにご返信くださいますよう、よろしくお願いいたします（切手は不要です）。
あなたの貴重なお考えを今後のまちづくりに活かしてまいります。
ご協力ありがとうございました。

